

おほとものやかもち たちばな はな お
大伴家持、橘の花を惜しむ歌一首

一四八九番

我がやどの 花橘は 散り過ぎて 玉に貫くべ
く 実になりけり

おほとものやかもち ほととぎす うた
大伴家持の霍公鳥の歌一首

一四九〇番

ほととぎす 待てど来鳴かず あやめぐさ 玉に
貫く日を いまだ遠みか

おほとものやかもち あめふるひ ほととぎす
大伴家持、雨日に霍公鳥の喧くを聞く歌一

首

一四九一番

卯の花の 過ぎば惜しみか ほととぎす 雨間も
置かず こゆ鳴き渡る